



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょ
【一般】困難な状況にある家庭
【宣教】迫害されるキリスト者
【日本の教会】被災者との連帯

ペトロ金貞根助祭誕生

「皆さんのお祈りのおかげです！」

2月7日、ペトロ金貞根（キム・ジュンクン）神学生の助祭叙階式が宮原良治司教主式のもと、カテドラル大名町教会で行われた。大聖堂には金神学生の母国韓国から家族や大田神学校の学長や院長がかけつけ、共に祈った。教区内外から多くの司祭・修道者・信徒が集まった。



諸聖人の連願の間、床に伏す金神学生と跪き共に祈る宮原司教

カテドラルで聖歌「きようこそ神が造られた日」が歌われる中、約30人の司祭団、侍者、キム・ジュンクン神学生、宮原司教が入堂した。宮原司教は、「いつくしみ深い神がキム神学生の助祭叙階を祝福し、司祭までの道のりを恵みによって導いてくださるよう祈りましょう」と会衆に呼びかけた。

叙階の儀は、助祭候補者の選出・司教の説教・助祭に叙階される者の約束へと続いた。名前を呼ばれたキム神学生は、「はい」と返事し、問いかけに対し、「約束します」と大きな声で答えた。続いて、祝福を取り次いでもらうための諸聖人の連願が行われた。その間、神学生は床に伏したままであった。次に司教の按手と叙階の祈りが唱えられて、キム・ジュンクン助祭が誕生した。

キム新助祭はストラ（聖職者の権威を示すもの）を横に掛け、ダルマチカ（助祭の祭服）を着けて皆に披露した。緊張の面持ちの新助祭に大きな拍手が贈られた。司教は新助祭に福音書を受け、「キリストを学び、学んだことを実行するよう」諭した。これより、新助祭は、司教・司祭団を助け、祭壇を準備し、愛と喜びをもって主に奉仕するよう、教会に奉仕することになる。また、ミサ中の福音を朗読し、結婚式の司式ができるようになる。更には、独身の約束を守り、教会の祈りを唱えることが義務になる。

拝領祈願後の祝賀式典で、司教は新助祭の姉夫婦に感謝し、会衆に「司祭に向かって歩むための祈り」と促した。次いで、北九州召命を共に祈る会の代表者からお祝いの言葉が述べられ、花束が贈られた。キム新助祭は、「ここまで来ることができたのも司教様の導きと皆さんの祈りのおかげです。これからもよろしくお願いします」と挨拶した。ミサ後は、一階講堂で祝賀会があった。司教による食前

4月13日（水）
司教座聖堂（カテドラル大名町教会）献堂記念



教区司教が典礼を司式するときに座る椅子を司教座（カテドラル）と言い、その司教座がおかれた教会堂を司教座聖堂と言います。司教座聖堂は教区の母聖堂と呼ばれ、一小教区の聖堂であることを越えて、司教と共に全教区民が集うところ、その献堂記念日は教区の祝日です。福岡教区では、1927年福岡教区設立以来、司教座は大名町教会におかれ、現在の宮原良治司教まで6代の司教の司教座聖堂となっています。現聖堂は1986年4月13日に献堂され、記念日となっています。今年も当日10時より宮原司教司式でミサが行われます。福岡教区の神の民の発展のため心を合わせてお祈りください。また、4月10日（日）は「カテドラル特別献金日」となっています。福岡教区の宣教活動のための援助をお願いいたします。

2月9日、司教館にて今年度4回目の司祭評議会が行われた。宮原良治司教の司祭たちへの労いと奮起して教区を盛り立てて欲しいとの言葉をいただき、議事に入った。議題として、1、2016年年間行事の確定 2、司祭研修会（6月21日〜23日）のテーマと講師 3、長崎教会管区司祭集会について、4、聖ヨハネ・パウロ2世の血（血を含んだ布）と聖ファウスティナ・コヴァルスカの聖遺骨と「イエスのいつくしみの

福岡教区 司祭評議会

教区の現状と展望を語る

1971年韓国ソウルに生まれ、会社勤務を経て、韓国光州神学大学、大田神学大学で学ぶ。2009年9月に来日。日本語を学習。その間、司教館に在住。大名町教会にて2014年2月朗読奉仕者に、2015年2月祭壇奉仕者に選任される。2016年2月、カテドラル大名町教会で助祭叙階。

一金助祭の略歴



の祈りの後、教区信徒使徒職協議会代表の稲葉仁志氏の韓国語・日本語交じりの乾杯の音頭に皆唱和し、食事に入った。終始和やかな雰囲気であった。

時の話題

聖遺物と聖人達の証し

聖ヨハネ・パウロ二世は、日本に來られた教皇として、私たちに与って身近な教皇様でしょう。日本の教会にとつてとくに大きな影響が二つあったと思います。信仰の証し人として殉教者の姿を自ら示されたと言うことです。教皇様御自身、自ら巡礼者として、日本に來たと言っておられました。日本には沢山の殉教者がいます。まだ十分に顕彰されているとは言えないでしょう。教皇様が巡礼者として來られたことを通して、殉教者が証し人として大切であることの意識が深まり、188殉教者の列福などが進んでいったと思います。もう一つは、広島と平和の原動力が、「イエスのいつくしみの御心」から力を得ていたと言ったことではないでしょうか。聖遺物を身近にすることによって、聖人達の信仰にも預かることが出来ますように。

し、信仰と生活の遊離という閉塞状況にある日本に新しい空気を吹き込んでくださいました。聖ヨハネ・パウロ二世教皇様は聖ファウスティナを列聖されました。空飛ぶ教皇と言われた聖ヨハネ・パウロ二世教皇様の原動力が、「イエスのいつくしみの御心」から力を得ていたと言ったことではないでしょうか。聖遺物を身近にすることによって、聖人達の信仰にも預かることが出来ますように。

聖ヨハネ・パウロ2世／聖ファウスティナの聖遺物と「イエスのいつくしみの御心」の御絵の福岡教区内巡回日程

3月 8日（火）～17日（木）	久留米教会
3月17日（木）～28日（月）	大名町教会
3月28日（月）～4月4日（月）	八代教会
4月 4日（月）～10日（日）	佐賀教会

※聖遺物の詳細と全国の巡回については、カトリック新聞2016年1月13日号2面の記事を参照ください。カトリック新聞オンラインにも掲載されています。http://www.cathoshin.com/2016/01/29/relics-2016/

祭壇奉仕者選任式

日時：3月6日（日） 9時30分
場所：カテドラル大名町教会
候補者：イハンウン（李韓雄）神学生
司式：ドミニコ宮原良治司教

＜聖香油ミサ＞

日時：3月23日（受難の水曜日）15時
場所：カテドラル大名町教会
◆ミサ後、今年司祭叙階50周年と25周年を迎える司祭のお祝いをいたします。
50周年 Ⅱ、マヘル神父（オプレート会、水巻教会主任）
25周年 山村憲一神父（長崎教区、福岡コレジオ院長）

御心の絵」の教区内巡回について、5、地区、各種委員会、部会、諸事業・諸団体報告 6、その他 7、フリーポート キング 2016年教区目標についてなどが挙がった。1、についてⅡ地区や小教区の計画の補足があった。後に正式なものが送られる。2、についてⅡ「いつくしみの御父を学ぶ」や「社会問題と教会」、「高山右近」についてなどが挙げられたが、テーマと講師については、事務局に任された。3、について…

10月25日から27日の予定であるが、教区司祭の黙想会が前週に計画されているため、日時を考えて欲しいなどの意見があった。準備委員会の歩みを見守っていくことになる。4、について…福岡教区では3月9日から4月10日にかけて聖遺物が巡回することになる。その場合、教区内の4地区が巡回日数を割り当てられる。顕示や保管の仕方など、詳しくは本部からの説明を待つことになる。5、について…各地区、各種委員会、部会、諸事業・諸団体の実情と計画が披露された。6、について…税金の関係から、マイナンバーを作成しておく

4月号は4月10日の発行となります。



四旬節は私たちの捧げものである「祈り・犠牲・愛徳」を大事に考えます。これは、やがてやってくる『主のご復活』に向けてのものです。▼先にイエスは、洗礼を受けた後40日間、『試練』の中にありました。人類の救いを父なる神と共に考え、試練に耐えながら過ごしていかれました。そして、救いの福音を3年にわたって伝えていかれました。ついには、十字架の刑にあつて、預言されていた救いを成就されたのです。それが明らかになったのは、イエスの「ご復活」でありました。▼この栄光のご復活の喜びに与るために、私たちも「祈り・犠牲・愛徳」を捧げていくのです。何事も成功するためには、何らかの犠牲がなければなりません。祈りも大切ですが、目的が人間の喜びのためならば、「相手のことを大切に思う」という愛の精神も不可欠です。イエスは人類を救うためにこのような必要すべてを果たしていかれました。ご自分の『神であるという身分』もかなぐり捨ててです（このことが一番の犠牲だったのではないのでしょうか）。それゆえ、それに応えて、父なる神はイエスを復活の栄光へと上げてくださり、キリスト（救い主）の称号を与えてくださったのです。最低の死の暗闇（悪の世界）から最高の復活の世界（神の世界）へ移行されたイエス様は、私たちに「死んで復活すること」を望んでおられます。▼私たちはできることをしながら、ご復活の喜びに与ることにしましょう。祈っていますか？犠牲を捧げていますか？愛の行いをしていますか？

船津神学生 助祭・司祭候補者認定式 教会で信仰を育まれて



参列者に見守られて、認定を受ける船津神学生

前後からの大雨があがった2月14日、久留米教会では、ベトロ船津亮太神学生

の認定式が行われた。宮原司教は、式に先立ち、新しく建設された鐘楼を祝福した。この鐘は、戦後造られたもので、一時的には、現聖堂に設置されていたが、聖堂の耐久性もあつて降ろされ久留米教会に保管されていたという。聖堂60周年を記念して、信徒

篤志の寄付等もあり建設された。認定式は、聖堂を埋め尽くした信徒が見守る中、真新しいスータンに身を包んだ船津神学生が、司教、司祭団とともに入堂した。説教の中で司教は「司祭は生涯をかけて捧げる『よき牧者』である。船津神学生はその道に主キリストに導かれ歩む。今日のミサは、目に見えぬかたちで神さまの恵みに与れる素晴らしいものであると語った。認定式の中で、船津神学生は「自分は久留米教会で洗礼を受けてきた。多くの信徒の皆様のお祈りに支えられて今後、司祭職の道を歩んで行きたい」と力強くその決意を表明した。その後、司教と挨拶を

2月11日 福音と平和の集い 社会と時代に生きる教会



基調講演を務めた
O. シェガレ神父

「『いのちを大切に』を指す」と題されたこの集いから、福音の光に照らされたビジョンが皆に共有されたら幸いです」。基調講演で、O. シェガレ神父（パリ外国宣教会）は述べた。また、「社会と時代に生きる教会の福音的な取り組み」はビジョンなしには発展がないとも語った。

教会信徒使徒職協議会主催、社会福音ネットワーク福岡の企画・運営の研修会が2月11日（木）、カテドラル大名町教会で行われた。

約350人が集い、午前中は宮原良治司教の講演とシェガレ神父の基調講演に耳を傾けた。午後は、「福島問題」「困窮者支援」「憲法問題」「水俣問題」「沖縄問題」「従軍慰安婦問題」「不登校問題」「女性と子どもの問題」「シェガレ神父を囲んで」の9つの分科会で、学びと分かち合いの時をもった。

最後に、社会福音化委員会の森山信三神父（久留米教会主任）が講話を行い、「社会の中で苦しむ人と共に、またそこに奉仕する人々と共に歩む教会は永遠に不滅です」と語った。

その後、宮原司教の派遣の祝福を受けて散会した。
※シェガレ神父の講演を教区HPで聞くことができます。

佐賀地区 信徒使徒職協議会に感謝 宣教司牧評議会へ

交わすと、聖堂内は大きな拍手に包まれた。聖堂最前列、神学生のすぐ後ろでミサに参列していた両親をはじめ、家

族の中には目頭を押さえる姿があった。
ミサ後は信徒会館にて、和やかに茶話会が催された。

佐賀地区信徒使徒職協議会（道津功会長）では、熊本地区・筑後地区に続いて宣教司牧評議会への移行、発足が決まり、43年の活動の歴史に幕を降ろすこととなった。佐賀地区信徒使徒職協議会は、前身の佐賀カトリック信徒布教会を受け継いで1973年5月に発足したもので、佐賀地区全信徒の使徒的活動の推進を目的として活動してきた。（佐賀カトリック教会史より）

現在の佐賀地区は小教区数が9、信徒数も2千人台で福岡教区では最も小さな信徒協組織であるが、信徒布教会の頃から信徒の使徒的養成のための研修会を継続して行ってきたほか、近年は地区内の小

中高生の一致と信仰教育を目的としたサマーキャンプを地区行事として開催している。また、1990年からは佐賀県嬉野市不動山地区の江戸時代のキリシタンに注目して殉教者祈念祭を開催し、いまでは市役所や地域住民の協力も得て毎年恒例の行事となった。

昨年の地区信徒協代表者会議で、修道者や事業所の代表者も加わる宣教司牧評議会への移行が決まり、規約を作成することから、地区信徒協は宣教司牧評議会への発展的解散となる。発足式は5月8日に佐賀教会で行われる予定。

福岡教区人事異動

2016年2月22日付

（一）内は前任地など 敬

称略／順不同
・浦俊雄師（馬渡島教会主任）
馬渡島教会主任を解く。福岡教区名誉司祭
・井手公平師（大牟田・荒尾教会主任）大牟田教会主任
・渡辺隆義師（崎津・大江教会主任）本渡教会主任兼任
・十時伸治師（留学）多久教会・武雄教会主任 武雄カトリック幼稚園園長
・アルビン・ヴァツラフ・ドゥゴシュ師（老司教会主任）馬渡島教会主任
・イルデフォンソ・ゴンザレス・コブレセス師（ドミニコ会）箱崎教会主任
・ピーター・ファン・グ・スアン・トアイ師（ドミニコ会）浄水通教会・茶山教会協力
・オロスコ・フェリペ・デ・

ヘスス・ロベス師（聖ザベリオ宣教会）（玉名教会主任）荒尾教会主任兼任
・ヴァレリオ・アンツアネッロ師（聖ザベリオ宣教会）（武蔵ヶ丘教会協働）荒尾教会・玉名教会協力
・夫津木昇師（聖パウロ修道会）老司教会管理者
・ジョンソン・デソーザ師（カプチン修道会）（高宮教会主任）高宮カトリック幼稚園副園長兼務
・イム・ドンビン師（コンヴェンツアル聖フランシスコ修道会）（大名町教会協力）西新カトリック幼稚園実習兼務
・ミシエル・ジアル師（ドミニコ会）（箱崎教会主任）教区外へ
・川上栄光師（神言会）（本渡教会主任）教区外へ
・深堀光子氏（聖マリア在俗会）吉野天使幼稚園 園園長

「ほかの町にも神の国の福音を告げ知らせなければならない。」 （ルカ4章43節）

フィリピンカトリック信徒宣教会 エデン ビン アルバ氏
Ms. Eden "Bing" Alba, Philippine Catholic Lay Mission

移民のための社会司牧ケア：

日本に雇用を求める外国人の流入に対する日本の教会の応え①

日本がバブル経済を迎えた1980年代後半は、外国人が日本国内に流入するピークの時期となり、特にエンターテインメント業界において多くの外国人が来日した。他の国籍はさることながら、多くの若いフィリピン人女性がクラブでホステスとして働くために次々と来日した。仕事柄、男性と出会い恋に落ちることは避けることができず、そのため、日本人と結婚する外国人妻の数が増加した。

ところで、どうして多くのフィリピン人が日曜日のミサに参加しないのか不思議に思いませんか。言葉の壁はその他多くの理由のうちの一つでしかありません。一つの大きな理由は、母国でミサにあずかることが減多にできないという状況のため、大多数の人が日曜日のミサに行くという習慣をもたないことにあります。フィリピン人の大多数がカトリックですが、残念ながら信徒に奉仕する司祭は不足しています。フィリピンの地理的区分によるカトリックの名簿によると、各小教区にはそれぞれ約18,000人の信徒がおり、一人の司祭が担当しています。そのため、多くの広範な村々（地区）は、定期的に日曜日のミサを祝うことができません。このような地域では、年に一回、村の守護の聖人の祝日にミサを祝います。もちろん、お祝いの日ですから溢れんばかりの食べ物振る舞われます。これでご理解いただけるでしょうか。どうして多くの人が機会のある時にしかミサに行かず、またパーティーのある時にしか来ないのか。

日曜日のミサが定期的に行われないという現状の他に、学校での宗教教育を指導するカテキスタが不足しているということもあります。「洗礼」は習慣や伝統として大切にされますが、人々にとって、特に若い世代にとって、信仰はあまり重要なものとされていません。私の時代には母親たちが私たちの初めのカテキスタでした。一方、現代の母親たちは祈り方（基本的な祈祷文ですら）を知りません。これでは、どうして子どもたちに祈ること、またクリスチャンとして生きる上での祈りの重要性を教えることができるでしょうか。さらに、異文化間の結婚で生まれた子どもたちが日本語しか話さないという言葉の壁もあります。（次号に続く）

※アルバ氏はフィリピンカトリック信徒宣教会所属で、福岡教区に招かれ教区内で主に外国人のための宣教司牧に奉仕している。

Socio-Pastoral Care for Migrants

Is the Church response to the influx of foreigners coming to Japan to find work <Part I>

The bubble economy of Japan in mid to late 80's was the focal point of the influx of foreigners coming to the country especially on the field of entertainment. Not to mention other nationalities many young Filipino women came one after the other to work in clubs as hostesses. Due to the kind of work they were in it cannot be avoided to meet men and fell in love with. Thus, the increasing number of Foreign wives to Japanese nationals.

Were you wondering why many Filipinos don't come to Mass on Sundays? Language barrier is just one of the reason. One big factor is, majority are not used to go to Mass on Sundays because of inaccessibility. While it's true that majority of the Filipinos are Catholics, sad to say that we still lack of priests to serve the faithful. According to our Catholic Directory based on geographical jurisdiction, every parish has more or less 18,000 parishioners with only one priest. Thus, most of the far-flung barangays don't have access to regular Sunday Masses. Most of these areas have Masses once a year only during their village' patron saint's feast day of which since it a feast day there's always an overflowing of food. Does it make sense now why many are occasional Mass goers and usually only when there is a party?

Aside from inaccessibility to Sunday Masses, we also lack of Catechists to take care on Religious Education at school. Baptism is very important as a custom and tradition, faith is only secondary especially for our young generation now. In my time, mothers are our first catechist. While mothers nowadays don't know how to pray even the basic prayers. Thus, how can they teach their children to pray and its importance in our lives as Christians? Much more the language barrier knowing that children of bi-cultural marriages only speaks Japanese.

(to be coninued)

【聖週間の黙想会】（部分参加可）

期 日：3月24日（木）～27日（日）
指導者：染野 治雄 神父（福岡黙想の家主任）
費 用：25,000円（税込・指導料含む）

【月例黙想会】

期 日：4月16日（土）～17日（日）
指導者：染野 治雄 神父（福岡黙想の家主任）
費 用：8,700円（税込・指導料含む）

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで

◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ VINO DE MISA

スイートタイプ（赤）（白）

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

花岡山殉教者墓地で早朝の祈りの集い

―福者小笠原玄也一家殉教記念―



小笠原玄也一家 画：三牧樺子
『恵みの風に帆をはって』(ドン・ボスコ社)より

の墓地へと向かった。朝6時、禅定寺からの巡礼者全員が殉教者墓地に着し、これより、「早朝の祈りの集い」が始まった。ここでは市内各地より約40人が集った。ライトの光で照り映えた殉教者の墓前で、会衆を前にして、福者マリヤみやが迫り来る殉教を前にしたためた遺言書が厳粛に読み上げられた。

1月30日、島崎教会では、福者小笠原玄也一家殉教記念日を迎えた。厳寒の中、早朝より熊本市内の司祭、修道者、信徒19人が、殉教の地、禅定寺に集合した。

禅定寺では、朝早くから本堂に灯りをともし、住職最勝林佑信和尚が巡礼者を手厚く迎えてくれた。本堂の正面には住職の厚意で殉教者の位牌が供え置かれ、巡礼者たちはここで一人ひとり肅々と焼香を行った。その後、徒歩で山道を登り、巡礼を行う予定であったが、雨模様のため、変更し車で殉教者の眠る花岡山

の中で、「私は、この信仰を捨てられません」と言っ、死を覚悟しての言葉は参列者の心に「証し」としてこたえた。続いて読まれたみ言葉「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。」は、緊迫しきつていたのである。小笠原玄也一家15人一人ひとりの心をなぐさめ、心の闇を照らす光となったものである。参列者はこのみ言葉に心を新にし、目に涙しながら、一つの心で殉教者への取次の祈りを唱えた。

(島崎教会 高木光行)

―福岡コレジオのボランティア活動― 岩手県大槌町に滞在して



菜の花プロジェクトに参加した福岡コレジオの学生と指導司祭

いて津波や火災被害のもつとも大きかった自治体の一つで、被災する以前、海へと続く大槌川や小槌川流域に沿って展開していた町の中心部は現在、盛り土による地面のかさ上げ作業が急ピッチで進んでいた。

菜の花プロジェクトと称する活動の手伝いだつたが、その作業は幸いにも家屋の倒壊を免れた大槌町内に住むある方が、亡くなられた方々の供養のため、残された方々の心の平安のためにと県から許可を得て、河川敷の一角を菜の花やコスモスで埋め尽くしたいという思いで始められたものであった。

福岡コレジオの養成プログラムの一環として1月30日(土)から2月5日(金)まで7日間、岩手県大槌町でのボランティア活動を行った。出発当日は仙台市内に一泊し、翌日はレンタカーで石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市、陸前高田市、大船渡市などの各被災地の「いま」を車内より目と心に焼き付け、一路釜石市へ。

カリタス大槌ベースのスタッフの方が釜石市まで迎えに来てくれ、大槌町内において3日間滞在し、大槌川河川敷での除草作業を手伝った。大槌町は東日本大震災にお

いて津波や火災被害のもつとも大きかった自治体の一つで、被災する以前、海へと続く大槌川や小槌川流域に沿って展開していた町の中心部は現在、盛り土による地面のかさ上げ作業が急ピッチで進んでいた。

菜の花プロジェクトと称する活動の手伝いだつたが、その作業は幸いにも家屋の倒壊を免れた大槌町内に住むある方が、亡くなられた方々の供養のため、残された方々の心の平安のためにと県から許可を得て、河川敷の一角を菜の花やコスモスで埋め尽くしたいという思いで始められたものであった。

野鳥による被害や自然環境に左右され、うまく作業が進められない状況下にあつても前を向いて自分のできることをやり続けようと地道に作業を進める背中を見て心が洗われる思いであつた。

その方と同じ時間、同じ作業を共有することができ、貴重な時間を過ごすことができた。(報告)谷口尚志神父



いつくしみ深く
御父のように

動かんと
しゃーな
いと思っ
た」と発

2011年3月11日の東日本大震災から5年が経つ。福島原発事故後、「保養プログラム」の動きが全国に広がった。

福島家族支援実行委員会主催の保養プログラム「博多にきんしゃーい」は今年の夏(7月末実施予定)で4回目を迎える。

実行委員長の目良信子さん(大名町教会信徒)は、原発事故で苦しむ家族の現実を前に「見過ごしてはいけない、ざわざわとしたものを感じ、

福島家族支援・博多にきんしゃーい ありのままの家族として

足當時を振り返る。すでに北九州で実施していた保養プログラムの関係者から勇気とアドバイスを受け、福岡で2013年の夏、初めて福島の家族を迎えた。回を重ね、疑問もわいてきた。「福島の家族の要望にこたえていないのか、自己満足に終わっていないか...」知っているつもりだけでは聞けない」と被災地も訪問した。「見解に違いはあるかもしれないけれど、『福島のいのち』を大切にしたい。理屈ではな



い生活レベルの共感で動こう」と活動を継続する。スタッフの思いも様々。「神さまは誰も分け隔てなく愛していることを伝えたい」「苦しみを感じた。その中で子どもたちから強烈な喜びをもらった。」スタッフ達も活動を通して兄弟姉妹のようになってきた、と

「来てみなさい、手が動きます」 by 福者マザー・テレサ

「被ばく」から子どもを守る母たちのドキュメンタリー『小さき声のカノン』の上映会を3月13日に開催(詳細は4面)。活動についての問い合わせ先：福島家族支援実行委員会・代表 目良 信子氏 ☎080・8392・7394

春節を祝ってベトナム人共同体集う

2月7日(日)、浄水通教会にてベトナム人約100人がベトナム語のミサに集った。その多くが外国人研修制度や留学で来日している20代の青年。この日は春節(旧正月)の前日にあたり喜びもひとしお。厳しい現状の中で、仲間に出会えるこの場所が心の支えとなっている。

2010年に愛の十字架修道会のベトナム人シスターが福岡教区で奉仕を始めてから、徐々に仲間が集うようになった。2013年から毎月集い、ミサ、ゆるしの秘跡、食事をやっている。平均60人が参加。定期的に集うことで関係を築くことができ、要理教育の必要性も見えてきた。

そして、ここ2年、受洗者もでてきた。「本当は小教区での信仰生活ができれば良いが、滞在期間や勤務の関係でそうできない現実がある。そんな中で親切にしてくださる日本人の信者の皆さまに感謝しています。そして日本の若者との交流の時を持ちたい」とシスターは語る。



「海の星保育園」が 喜びの新築落成



地球環境にも優しい設計の新園舎

木造建築で、子どもたちに優しい木肌の香りやぬくもりを感じさせる全館床暖房の建物である。新園舎の南側には地域の人が利用するデイサービスセンターいぶきの家、旅路の荘、訪問介護ステーション、そして養護老人ホームが並び、北側にはグループホームが2ユニット、特別養護老人ホーム・ショートステイの建物があり、その中央に新園舎「海の星保育園」が位置している。

三井郡太刀洗町にあるカトリック愛善会経営の社会福祉法人希望の丘(施設長・鳥羽清治氏)「海の星保育園」の新園舎の落成式が1月28日(木)、宮原良治司教を迎えて厳粛に行われた。

新園舎の建設は、定員増によるもの。現在の園児数は71人、職員が19人。園舎は地球環境にも優しくCO2の削減効果も大きい

このすばらしい環境の中にあって、子どもたちが地域の人たちに見守られ、神さまの愛に包まれて、のびやかにすくすくと育っていくことを願っている。



☆うーこんどのと歩く
高山右近ガイドブック

高山右近列福のために生まれてきたゆるキャラ「うーこんどの」とともに歩く高山右近ゆかりの地のガイドブック。右近ゆかりの地を訪ね、どなたでもその地を訪ねることができるよう、各地を文章と地図や写真で紹介します。前文に溝部脩名誉司教の「高山右近に見る『殉教』」の他、五野井隆史氏による右近の生涯、右近の年表などが織り込まれ、この一冊で右近のことを知ることができるようガイドブックです。

ガイドブック内に掲載されたQRコードから、最新情報やもっと詳しい地図、近くのキリシタン遺跡もチェックできます。

女子パウロ会発行
税込み価格1000円

☆最初の復活祭



イエスってだあれ? 最初の復活祭ってなあに? この本には「復活祭の出来事」が小さい子どもたちのために、かわいらしいイラストとやさしい文章でわかりやすく書かれています。

サンパウロ発行
税込み価格1296円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみ深く
御父のように

3月20日(日)世界青年の日

教皇は今年7月、クラクフで開かれるワールドユースデー大会への巡礼が最終段階に入ったと述べ、「あわれみ深い人々は、幸いである、その人たちはあわれみを受ける」(マタイ5・7)をテーマにメッセージを発表している(中央協議会HPに全文掲載)。「クラクフがわたしたちを待っています」と青年たちに主のいつくしみ深いまなざしが注がれることを、教皇は望んでいる。



2016年ワールドユースデー
クラクフ大会 公式日本巡礼団

参加者募集中! 申込〆切4月12日

【Aコース】 2016年7月23日(土)～8月2日(火) 11日間

【Bコース】 2016年7月23日(土)～8月5日(金) 14日間

【問合せ先】

2016年ワールドユースデークラクフ大会 公式日本巡礼団 事務局
電話: 03・5632・4480 Email: wyd@cbcj.catholic.jp
ホームページ: <http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/krakow/>
福岡教区担当: 田中重治神父(大楠教会)

《生活聖化委員会より》

昨年5月に実施されたアンケートの報告書がまとまりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げますとともに、報告が遅くなりましたことお詫び申し上げます。各小教区・修道院に送付いたしましたのでご活用ください。

映画「小さき声のカノン」上映会
(主催: 福島家族支援実行委員会)



日時: 3月13日(日)

第1回 11時～13時

第2回 14時～17時

場所: カトリック大名町教会

料金: 大人1000円、

小・中・高生500円

※託児サービスあり(要予約)

※ミニバザー開催

問合せ: 若狭

☎092・834・4341

東日本大震災被災地支援
第64回 音楽と祈りの夕べ

日時: 3月13日(日)15時～16時30分(開場14時半)

場所: カトリック小倉教会

参加費: 無料

プログラム: 黙祷、映像からのメッセージ、
オルガン演奏と歌、バンド演奏

主催: 東日本大震災被災地「音楽と祈りの夕べ」実行委員会

問合せ: 宮崎 ☎080・9102・8194

花岡山「小笠原玄也一家」殉教記念祭

日時: 4月3日(主のいつくしみの主日) 14時～17時

場所: カトリック島崎教会聖堂、及び花岡山

プログラム

14時 講話「オナジを手渡すために」

—小笠原玄也・みや家族に学ぶ—

古巣馨神父(長崎大司教区司祭)

聖画「最も小さな教会」のお披露目

15時 荘厳ミサ 宮原良治司教司式

16時半 花岡山殉教者墓地「巡礼者の祈り」

主催: 熊本地区宣教司牧評議会

問合せ: 島崎教会 ☎096・352・5610

Email cm-shimasaki@s1.kcn-tv.ne.jp

(メールでの申込にはポスターを送信いたします)

2016年度 北九州地区 聖書講座

日時: 4月3日(日) 14時～16時30分

場所: カトリック小倉教会

参加費: 無料

講師: L.ベリオン神父(行橋教会主任、パリ外国宣教会)

テーマ: イスラエルの民に語られる、神のいつくしみ(2)

主催: 北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

問合せ: 徳永哲 ☎& FAX 093・592・0316

福岡教区広報室アドレス

<http://fukuoka.catholic.jp>

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

10日(木) 麦の会(日帰り)
24日(木)～27日(日) 聖週間黙想会(参加者募集中)
28日(月)～1日(金) オプレート会(空室0)

*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ: イエスとの出会い その喜びを味わう

・日時: 3月10日(木) 10時～15時

・内容: ニコデモ(ヨハネ3:1～8)

指導者: フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)

問合わせ先: 真命山諸宗教対話・靈性交流センター

・次回: 4月14日(木) トマス(ヨハネ20:19～28)

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

玉名郡和水町蜷浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 3月12日、19日、4月9日、23日

10時～11時45分

場所: カトリック大名町教会小聖堂

カテドラルでの18時半の主日のミサ

日程: 3月6日、13日(この日をもって終了)

場所: カトリック大名町教会小聖堂

【3月】

3日(木) 常任司教委員会

4日(金) 初金ミサ・サーリスの集い

いつくしみの特別聖年「主にささげる24時間」(～5日)
†E.グリフィン(2014年 手取教会)

四旬節第4主日

李韓雄神学生 祭壇奉仕者選任式(大名町教会)

福岡雙葉小学校校舎落成祝式 責任役員会

†ミル平田寛(2002年 門司教会)

9日(水) 聖遺物教区内巡回(～4月10日) †

11日(金) †L.グリッフィス(2013年 菊池教会)

13日(日) 四旬節第5主日 †M.ラバルタ(2015年)

17日(木) 日本の信徒発見の聖母

18日(金) 久留米信愛女学院短期大学卒業式

19日(土) 聖ヨゼフ

20日(日) 受難の主日 世界青年の日

23日(水) 聖香油ミサ 司祭叙階金祝・銀祝のお祝い

24日(木) 聖木曜日 主の晩さんの夕べのミサ

25日(金) 聖金曜日(大斎・小斎) 主の受難の祭儀

26日(土) 聖土曜日 復活徹夜祭

27日(日) 復活の主日

30日(水) †V.チェリッツ(2005年 唐津教会)

31日(木) (宗法)幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会

【4月】

1日(金) 初金ミサ・サーリスの集い

†J.クレハン(2008年 荒尾教会)

3日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

花岡山「小笠原玄也一家」殉教記念祭

†A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)

4日(月) 神のお告げ †パト黒川博(2002年 大牟田教会)

6日(水) 教会行政法制委員会

7日(木) 聖ヨハネ・パプティスタ司祭 常任司教委員会

10日(日) 復活節第3主日 カテドラル特別献金日

南粕屋教会信徒会館落成祝式

■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時～12時半(場所)大名町教会1階

(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先)092・521・2403 蓮尾

◆グレゴリオ聖歌を歌う会

(日時)3月8日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)スタバト・マテルとグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・380・5686 堀

◆震災のための祈りのリレー

(日時)3月11日(金)ミサ6時半から・夕の祈り19時から(場所)中町教会(長崎教区)(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

◆祈りの集い・勉強会

(日時)3月12日(土)14時から(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(問合せ先)☎092・541・3730 松山

◆レジオナリエ福岡クリア

(日時)3月13日(日)13時から(場所)高宮教会(問合せ先)☎090・5936・3831 今野

◆福岡ホスピスの会 勉強会

(日時)3月13日(日)14時～16時(場所)大名町教会4階会議室(講師)加藤理人氏(熊本みこころ病院パストラルケアワーカー・笑い療法士)(テーマ)スピリチュアルな痛み・

◆スピリチュアルケア(参加費)会員500円 一般1000円(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田

◆カルメル在世会集会

(日時)3月14日(月)10時半から(場所)福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話指導(中川博道神父(カルメル会)(問合せ先)☎095・828・2350 鶴池

◆福岡召命を共に祈る会

(日時)3月15日(火)13時半から(場所)大名町教会小聖堂(内容)召命のミサと分かち合い(問合せ先)☎092・921・4532 山口

◆聖書に集う会 第2回

(日時)3月16日(水)14時～15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階集会所(講師)鈴木信一神父(パウロ会)(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

◆ラスキン黙想と祈りの集い

(日時)3月18日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

◆虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時)3月19日(土)14時～16時半(場所)大名町教会3階会議室(参加費)600円(茶菓子代)(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田

◆在世フランススコ会集会

(日時)3月20日(日)14時から(場所)高宮教会(指導)ジョンソン神父(カプチン修道会)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎

◆美野島司牧センター

あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分 ◆越冬期ホームレス支援夜回り(スープの会と協働) 3月4日20時美野島司牧センター集合/3月11日20時大名町教会集合 ◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 M.コース神父

◆筑後

◆聖週間に「マタイ受難曲」を聴きましょう ※スクリーンに流れていく文字を追いつながら黙想していきます(日時)3月21日(月)13時半～17時半(小休憩舎(場所)二日市教会聖堂(問合せ先)☎092・925・3356 野田

◆北九州

◆北九州召命を共に祈る会(日時)3月10日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・249905 藤井

◆小倉祈りの集い

(日時)3月25日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難会)(内容)みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209 松田

◆佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時)3月9日(水)10時～12時(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・308347 吉武

◆熊本

◆聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先)☎096・384・1693 中川

◆熊本地区召命を共に祈る会

(日時)3月17日(木)10時半から(場所)健康教会(問合せ先)健康教会 ☎096・368・2825 浦川務神父

◆編集後記

美しく魅了する桜の花が期待される頃。新しい道を準備する頃。新しい何かに向かって、自分も変わっていく頃。大切に。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店

福岡メモリード(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働ませんか?

＝募集＝

医師・看護師・医療技術職

九州青年キャンプ
in福岡

九州の色々な地域の
青年が出会い、
分かち合い、交流する
各教区持ち回りの集い。
今年は福岡教区が
担当です!

日時: 4月30日(土)～5月1日(日)

場所: カトリック浄水通教会

対象: 18歳以上の青年 参加費: 2,000円

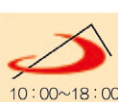
申込〆切: 3月27日

問合せ: 浦越 ☎080-6448-1791

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ



メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930